

# 家庭教育支援の取組事例

## 親の育ちを応援する学びの機会の充実

### ◆「親の学習」講座～ファシリテーターが中心となって進める参加体験型学習～

(埼玉県三郷市教育委員会青少年課、青少年育成市民会議)

#### 【取組概要】

- 平成19年度に埼玉県が開発した『親の学習』プログラム集を活用し、三郷市青少年育成市民会議が中心となって実施。「座学」でなく、「参加型学習」を基本とし、小グループによる意見交換やロールプレイングなど、体験的な学びを交えて楽しく学習を進める。
- ファシリテーターは埼玉県で研修を受け、資格を取得した「家庭教育アドバイザー」が担当。
- 事前に教員等と打合せを行い、保護者や学校のニーズに合わせた独自のプログラムを作成。「親が親として育ち、力をつけるための学習」として乳幼児の保護者対象、小学校就学時健診時、小中高校生の保護者対象、親子合同講座を実施。近い将来親となる中学生・高校生を対象にした「親になるための学習」、さらに市民・教職員等対象など幅広く実施。

#### 【効果・実績】

- 学習を通じて、親同士の交流やつながり、安心が生まれるとともに、家庭でのエピソードを語らうことで自分の子育てを振り返るなど、自然に学習ができている。
- 乳幼児の保護者のよき相談相手、学校と保護者との潤滑油としての機能を果たしている。
- 平成20年度からはじめ、6講座(ファシリテーター2名)から、平成21年度56講座(10名)、22年度101講座(15名)、23年度132講座(17名)と順調に拡大。



乳幼児対象講座



小学校就学時健診



小中学校保護者会



中高生対象講座